



進路だより

静岡県立袋井特別支援学校

No.3 R5. 7. 25

○高等部2年生の産業現場等における実習が終了しました

高等部2年生が6月から7月にかけて産業現場等における実習を行いました。今回も多くの企業・福祉事業所に御協力をいただき、1年次とは異なる実習先にチャレンジをしました。それぞれの実習先で様々な経験をし、学び、また新たな課題も見えてきました。今回の実習で得た成果を活かし、10月の実習に向けて目標をもって生活をしていきたいです。



☆実習を通して教師が感じたこと

『児童生徒に身に付けて欲しい力』

多くの実習先で求められることは、相手に伝わるように挨拶や返事をすることや「報告・連絡・相談」などのコミュニケーションの力です。分からないことは質問する、作業が終了した際には必ず報告するなど、実習先の方々とのコミュニケーションはとても大切なことだと感じました。学校や家庭の中で、まず大人が率先して挨拶や返事などの手本を見せていくことが大切です。そして、子ども達が、相手に聞こえる声で伝えたり、相手に分かるようにうなずいたりするなど、自分なりの方法を身に付けることができるよう、毎日の挨拶や会話を大切にしてほしいと思います。

また、何事にも積極的に取り組める姿勢も大切な力になります。小中学部段階からいろいろな遊びやスポーツ、手伝い等を経験させることは、興味や関心を広げることになります。さらに、意欲的に取り組む力に結びついていったりすると思います。

『家庭で意識してほしいこと』

多くの福祉事業所や企業で、『毎日元気に通う』ことが求められています。毎日元気に通ったり、働き続けられたりできる体を作るために生活習慣を整えることも大切になってきます。規則正しい生活を送って健康な体をつくりましょう。